



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6490 URL <https://www.pillar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 嘉信

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 藤井 正博

TEL 06-7166-8248

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,681	17.9	6,813	29.2	7,292	35.9	5,411	44.0
2022年3月期第2四半期	19,231	39.9	5,271	197.4	5,366	190.2	3,757	188.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5,834百万円 (39.7%) 2022年3月期第2四半期 4,177百万円 (158.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	228.83	
2022年3月期第2四半期	158.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	70,060	56,529	80.7
2022年3月期	64,991	52,658	81.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 56,529百万円 2022年3月期 52,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		45.00		61.00	106.00
2023年3月期		54.00			
2023年3月期(予想)				54.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

未定としていました2023年3月期の第2四半期末配当金を54円に決定しました。なお、期末配当と合わせた年間配当予想は変更していません。詳細は、2022年11月10日公表の「剰余金の配当(中間配当)の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	8.2	11,800	3.6	11,800	0.2	8,300	0.2	351.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	25,042,406 株	2022年3月期	25,042,406 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,389,393 株	2022年3月期	1,398,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	23,647,788 株	2022年3月期2Q	23,637,476 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が緩和され、個人消費の持ち直しや、企業業績が堅調に推移するなど緩やかな回復基調にあります。急激な円安やインフレの進行によるエネルギーや原材料の価格高騰など、先行きは不安定な状況が続いております。

また、世界経済においても、欧米の金融政策の動向、米中貿易摩擦、ロシア・ウクライナ情勢等の地政学リスク、資源価格・物流費の高騰、半導体不足問題など、不透明な状況が継続しています。

このような環境の中、電子機器関連事業においては、半導体需要が堅調に推移したことにより半導体・液晶製造装置関連業界向けピラフロン製品が売上を牽引し、売上高は前年同期比で増加いたしました。また、産業機器関連事業でも、半導体市場に関連する精密機械装置向け製品、化学関連及び舶用向け製品の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期比で増加となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高226億81百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益68億13百万円（前年同期比29.2%増）、経常利益72億92百万円（前年同期比35.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益54億11百万円（前年同期比44.0%増）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、電子機器関連事業は169億20百万円（前年同期比18.2%増）、産業機器関連事業は57億38百万円（前年同期比18.2%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は23百万円（前年同期比61.5%減）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、電子機器関連事業は56億13百万円（前年同期比24.1%増）、産業機器関連事業は11億83百万円（前年同期比65.7%増）、その他部門（不動産賃貸業等）は16百万円（前年同期比54.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加、売上債権の増加等により前連結会計年度末に比べ50億68百万円増加し、700億60百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、未払金の増加等により前連結会計年度末に比べ11億97百万円増加し、135億30百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により前連結会計年度末に比べ38億71百万円増加し、565億29百万円となりました。

この結果、自己資本比率は80.7%（前連結会計年度末は81.0%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、下記の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは23億69百万円（前年同期は30億55百万円）となりました。その主な要因は税金等調整前四半期純利益77億11百万円（前年同期は53億68百万円）、売上債権の増減額△20億88百万円（前年同期は△19億35百万円）、法人税等の支払額△29億10百万円（前年同期は△10億46百万円）によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは83百万円（前年同期は△2億54百万円）となりました。その主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出△5億92百万円（前年同期は△2億69百万円）、関係会社の清算による収入6億55百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは△14億66百万円（前年同期は△6億30百万円）となりました。その主な要因は配当金の支払額△14億38百万円（前年同期は△7億8百万円）によるものであります。

その結果、現金及び現金同等物は前期末比13億57百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は211億67百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,165	22,553
受取手形及び売掛金	9,056	10,245
電子記録債権	3,953	5,162
商品及び製品	912	1,168
仕掛品	1,698	1,780
原材料及び貯蔵品	918	1,260
その他	347	426
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	38,050	42,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,452	11,517
機械装置及び運搬具(純額)	2,258	2,121
土地	4,773	4,611
その他(純額)	788	2,823
有形固定資産合計	20,272	21,074
無形固定資産	222	201
投資その他の資産		
投資有価証券	5,490	5,325
退職給付に係る資産	369	445
その他	606	437
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	6,446	6,189
固定資産合計	26,941	27,465
資産合計	64,991	70,060
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,434	3,595
電子記録債務	293	455
短期借入金	250	250
未払金	1,109	2,407
未払法人税等	2,974	2,286
賞与引当金	856	909
資産除去債務	117	117
その他	1,078	941
流動負債合計	10,113	10,964
固定負債		
長期借入金	100	100
退職給付に係る負債	1,596	1,607
資産除去債務	158	165
その他	364	693
固定負債合計	2,219	2,566
負債合計	12,333	13,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,208	5,222
利益剰余金	41,137	44,560
自己株式	△1,572	△1,562
株主資本合計	49,739	53,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,381	1,985
為替換算調整勘定	468	1,250
退職給付に係る調整累計額	68	106
その他の包括利益累計額合計	2,919	3,342
純資産合計	52,658	56,529
負債純資産合計	64,991	70,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,231	22,681
売上原価	10,923	12,421
売上総利益	8,308	10,259
販売費及び一般管理費	3,036	3,446
営業利益	5,271	6,813
営業外収益		
受取配当金	44	75
為替差益	24	356
その他	31	61
営業外収益合計	101	493
営業外費用		
支払利息	1	1
固定資産処分損	1	11
その他	2	0
営業外費用合計	6	13
経常利益	5,366	7,292
特別利益		
投資有価証券売却益	1	33
関係会社清算益	—	517
特別利益合計	1	551
特別損失		
工場建替関連費用	—	132
特別損失	—	132
税金等調整前四半期純利益	5,368	7,711
法人税、住民税及び事業税	1,642	2,257
法人税等調整額	△32	42
法人税等合計	1,610	2,300
四半期純利益	3,757	5,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,757	5,411

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,757	5,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	△395
為替換算調整勘定	202	781
退職給付に係る調整額	△4	37
その他の包括利益合計	419	423
四半期包括利益	4,177	5,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,177	5,834

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,368	7,711
減価償却費	955	919
工場建替関連費用	—	132
賞与引当金の増減額 (△は減少)	43	52
退職給付に係る資産負債の増減額	27	△9
受取利息及び受取配当金	△46	△77
支払利息	1	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△33
関係会社清算損益 (△は益)	—	△517
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,935	△2,088
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△454	△546
仕入債務の増減額 (△は減少)	195	1
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△200	△185
その他	103	△156
小計	4,056	5,204
利息及び配当金の受取額	46	77
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,046	△2,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,055	2,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△269	△592
投資有価証券の取得による支出	△2	△27
投資有価証券の売却による収入	1	54
関係会社の清算による収入	—	655
その他	15	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254	83
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△4	—
配当金の支払額	△708	△1,438
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△17	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△630	△1,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	157	637
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,327	1,624
現金及び現金同等物の期首残高	10,517	19,809
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	508	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△279	△266
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,072	21,167

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,316	4,854	19,171	60	19,231	—	19,231
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	6	6	△6	—
計	14,316	4,854	19,171	67	19,238	△6	19,231
セグメント利益	4,522	714	5,236	35	5,271	—	5,271

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器 関連	産業機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,920	5,738	22,658	23	22,681	—	22,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	16,920	5,738	22,658	23	22,681	—	22,681
セグメント利益	5,613	1,183	6,796	16	6,813	—	6,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。